

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 9 組

使用教科書：（ 新高等保健体育、図説新高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
体の動かし方や技能、体力の高め方を理解し、運動の技能として発揮したり、身体表現したりすること、スポーツに関する科学的知識や文化的意義等の理解	自己や仲間の運動課題を解決する過程などを通して、生涯にわたって、豊かなスポーツライフを継続できる資質や能力	公正、協力、責任、参画に対する意欲及び健康・安全を確保することで運動の楽しさや喜びを深く味わうことのできる態度

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：日本における健康課題の変遷 【知識及び技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や構造の変化を通して理解したことを発言したり、記述したりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理し、それらを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 国民の健康課題について理解したことを発言したり記述したりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようになる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や構造の変化を通して理解したことを発言したり、記述している。 【思考・判断・表現】 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理し、それらを説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民の健康課題について理解したことを発言したり記述したりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとすることができている。	○	○	○	6
	単元 現代社会と健康 【知識及び技能】 健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況がかかわっていることを発言したり、記述したりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理し、それらを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在及び将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにすることを目指すことができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況がかかわっていることを発言したり、記述したりすることができている。 【思考・判断・表現】 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理し、それらを説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在及び将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにすることを目指すことができている。	○	○	○	7

2 学 期	単元：安全な社会生活 【知識及び技能】 交通社会に必要な資質と責任について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 交通社会に必要な資質と責任について、交通事故の現状を踏まえ、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、整理するなどして、それらを説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 交通事故を防止するには、自他の命を尊重し、自分自身の心身の状態や車両の特性の把握、個人の適切な行動が必要であることに理解したことを発言したり、記述したりしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 交通事故を防止するには、自他の生命を尊重し、自分自身の心身の状態や車両の特性の把握、個人の適切な行動が必要であることについて理解したことを発言したり、記述したりしている。 【思考・判断・表現】 交通社会に必要な資質と責任について、交通事故の現状を踏まえ、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、整理したりするなど、それらを説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 交通社会に必要な資質と責任について、課題の可決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	単元 応急手当の意義と救急医療体制 【知識及び技能】 応急手当について、実習を通して理解することができるようにするとともに、心肺蘇生法などの技術を身に着けることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について、課題解決に向けた学習解決に主体的に取り組むことができるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 応急手当の意義、手順や方法、さらに、自ら進んで行う態度、社旗の救急体制の整備や、それらを適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。 【思考・判断・表現】 応急手当について、個人及び社会生活と関連付けて、自他や社会の課題発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当について、課題解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
3 学 期	単元 研究発表授業 【知識及び技能】 相手にわかりやすいプレゼンにするために、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話やパワーポイントなどの構成について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 資料や機器を用いて、課題についてわかりやすく伝えるように表現を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 調べたことや整理したことを、意欲的に、周りに発信している。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 相手にわかりやすいプレゼンするために、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話やパワーポイントなどの構成について理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 資料や機器を用いて、課題についてわかりやすく伝えるように表現を工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 調べたことや整理したことを、意欲的に、周りに発信している。	○	○	○	6
							合計
							35